添 付 書 類 (8)

宅地建物取引業従事する者の名簿

(A4)											
	1	7	0								

	受	付	番	号	申請時の免許証番号										
*						1 5	5	(5)			4	5	6	7	

事務所の名称 本 店

事務所コード

従事する者 <u>5</u> 名 うち専任の宅地建物取引士 <u>2</u> 名

項番																			
61						業	彩	Š		に		î	É		事	す る	者		
		氏			彳	Š			生	年	Ξ,	月	日		性 別	従業者証 明書番号	主 た る 職務内容	宅地建物取引士 あるか否かの 気	
1	宅 建	太	郎					S	3	0	0	3	0	5	.男 2.女	9601101	代表者	[]
2	宅 建	=	男					S	3	8	0	8	2	7	1.男 2.女	9601102	営業部長	Ol]
3	小林	材	子					S	3	0	0	7	3	0	1.男 2.安	9708103	営 業	Ol]
4	佐藤	_	郎	9				S	5	0	1	1	1	5	男 2. 女	9909104	営 業	[新潟 7999]
5	田中	清						S	5	2	1	2	0	1	1.男 2.女	9909105	経 理	[]
6															1.男 2.女			[]
7															1.男 2.女			[]
8															1.男 2.女			[]
9															1.男 2.女			[]
10						 - - - - -									1.男 2.女			[]
11															1.男 2.女			[]
12															1.男 2.女			[]
13															1.男 2.女			[]
14															1.男 2.女			[]
15															1.男 2.女			[]
16															1.男 2.女			[]
17															1.男 2.女			[]
18															1.男 2.女			[]
19															1.男 2.女			[]
20															1.男 2.女			[]
21															1.男 2.女			[]
22															1.男 2.女			[]
23															1.男 2.女			[]
24															1.男 2.女			[] 確
25															1.男 2.女			[] *

添付書類(8)

・事務所ごとに記入する。

申請時の免許証番号

・更新・免許換えのみ記入(新規は記入不要)し、右詰めで記入する。

1 5 (5)		4	5	6	7	新潟県知事(5)第4567号の場合
	l l	ı				新潟県の免許権者番号→15

- 「事務所の名称」の欄は、主たる事務所の場合は「本店」、従たる事務所の場合は「○○支店、△△営業所、□□支社」等と記入する。
- ・ 「従事する者」は、専任の宅地建物取引士を含んだ数で、申請書(第三面)及び添付書類(3)と同一になる。

項番61

- ① 「氏名」の欄は、左詰めで記入し、姓と名の間を 1 文字空ける。
- ② 「生年月日」の欄は、最初の□に元号コードを記入し、1ケタの数字の場合は、前に「0」を記入する。

元号コード

	M	明治	T	大正	S	昭和	Н	平成	R	令和				
3	1	「従業者記	明	小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小	り欄に	よ、必ず言	己入す	-る。(番	号の	付与の方	法は、	第 1	及び第2	ケタに

- ③ 「従業者証明書番号」の欄は、必ず記入する。(番号の付与の方法は、第 1 及び第 2 ケタは雇用された西暦の下 2 ケタを、第 3 及び第 4 ケタは雇用された月を、第 5 ケタ以降は従業者ごとに重複がないように付した番号となる。)
- ④ 「専任の宅地建物取引士であるか否かの別」の欄は、専任の宅地建物取引士である者は[]の前に ○をつけ、専任以外の宅地建物取引士は[]内に登録番号を記入する。

チェックポイント

- ・従業者に監査役は含まない。
- ・ 従業者数、専任の宅地建物取引士数が申請書(第三面)及び添付書類(3)「専任の宅地建物取引士設置証明書」と一致しなくてはいけない。
- ・非常勤の代表者は従業者に含まない。